

ビギナーさんの花はじめ



④ キュートなフォルムのサボテンたちをちょっと個性的な鉢にあしらって、遊び心をプラス!!



③ パラとハイブリッドスターチスのコンビはいつもと雰囲気を変えて楽しみたい時にドライになる色変わりも素敵な組み合わせです!



⑤ 花の大きいスターチスと、小花がふわふわと可愛いハイブリッドスターチスのミニブーケ。思いつき「スターチス」を楽しんでみましょう!

過ごしやすいつ季節となり、何かを始めたい!と考えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか? 「初心者だから枯らしちゃいそう...」という方は、バラ、スターチス、カスミソウの様な初めからドライフラワーにしやすなお花を飾ってみてはいかがでしょうか? 生花ならではみずみずしさと、ドライフラワーならではの色・形・飾り方など両方楽しめますよ! ドライフラワーを作るコツは、なるべく風に当てて短時間で水分を抜くこと、出来たドライフラワーを束ねてオリジナルのスワッグにしてみるのをおしゃれです! 次におすすめののが、サボテン。チクタクとした針とところどころとした形が何とも愛らしいサボテンとの新しい生活はいかがでしょうか? 少し放置気味でも育つサボテンは、春・秋の水やりは土が乾いたらたっぷり、冬は月1回程度の最低限に控えましょう! 日当たりと風通しの良いところで育てれば丈夫に育ちます! お気に入りのサボテンに合う鉢と一緒に探して「新しい」をスタートしてみませんか?

とにかくシンプルに楽しむ アウトドア編

アウトドアで楽しむ植物もちょっとしたコツでカンタンに楽しむことができます。夏に向けてカンタンに楽しむためにはとにかく手をくわえないこと。シンプルに楽しむことです。難しく考えないことが植物を元気に育てる近道です! ちょうど今の季節、ハーブ類も多くの品種が出回ります。おうち時間が増えていることもあり、夏野菜やハーブなどの食べられるものを育てることが非常に人気になってきています。ハーブもバジル、ミント、タイム、ローズマリー...あげればきりがありません。どの品種があります。これも育てたい、あれも育てたいとよくなるのはよくわかります。ひとつのプランターでたくさん種類の育てたくなりますよ。しかしそこはグッと我慢です。一つのプランターに1種類を育ててみましょう。春から夏にかけて植物は1株でもびっくりするぐらいの速さで成長します。成長のスピードは植物の中でも色々あります。始めはカワイイ寄せ植えになっていても、その内1つのハーブが生存競争に勝つていき、それだけが残ってしまうこともよくあります。そのためにも1つずつ育てることがビギナーさんが楽しくハーブを育てるポイントです。



⑥ ミントはハーブの中でも育てやすく生育もとても旺盛です。びっくりするぐらいモリモリになります。

花も同じで1つの種類を育てること、植物が最も最高のパフォーマンスが見られます。いろいろな花の寄せ植えもとてもカワイイのですが、夏に向けては「1つの花を楽しむ」これが夏の楽しみ方の極意です! そこから順番に花の種類を増やしていく寄せ植えを作っていく、そうすると植物を楽しく育てていくことができます。



⑦ ペゴニア バンダブル シンプルな1種類だけのハンギングバスケットですが、これが夏は一瞬きれいに長く楽しむことができますよ。

最後に、わからないことは此細なこともスタッフにお聞きください。植物を楽しく育てるために全力でサポートします。一人でも多くのお客様に植物を育てる楽しさを知っていただけると幸いです。



⑧ チランジア 'キセログラフィカ' 大柄な姿に迫力があり、チランジアの王様とも称される豪華な美しい大型のエアープランツ。強健な性質なので初心者の方にもオススメです。



⑨ 流木で豪華アレンジ 小さなサイズのエアープランツと流木で簡単にアレンジも楽しめます。あまり根を見ることはないですが、根が出てくると生育も安定してきます。流木などに着生させて大株を目指してみてください。



⑩ 吊り鉢で楽しむエアープランツ 吊り鉢で気軽に飾れるのもエアープランツの良さ。お部屋の中やベランダでも気軽に楽しめます。



⑪ チランジアの花 ユニークなフォルムが目玉ですが、とても美しい花を咲かせます。株が充実してくると暖かい時期によく花を咲かせてくれます。

エアープランツと暮らそう

ユニークなフォルムと習性で、人気の高いエアープランツ。よく、土も水やりもいらぬ管理が楽で置いておくだけで楽しめる植物とされていますが、実は大きな間違いです!!

とても乾燥に強く土に植えておかなくても育っていきませんが、エアープランツも植物なので、水をやらずに置いておくだけでは枯れてしまいます。今回はエアープランツの基本的な管理方法をご紹介します。

まず最初に、エアープランツとはハナアナナス属(チランジア)の内、空気中の水分を吸収する着生植物の通称です。森林や山などの標高の高い場所に自生し、夜露や朝露などの空気中の水分を吸収し成長していきます。この様子からエアープランツと呼ばれるようになったようです。

水やりがいらぬ、空気中の水分で育つと思われるのも納得です。ただ、その様な環境を日本で再現するのは非常に難しく、エアープランツを上手に長く楽しむためには水やりが必要になってきます。

エアープランツを育てていくうえで重要なポイントが水やりと置き場所の選び方です。エアープランツは体内の水分の蒸散を防ぐため、日中は気孔を閉じているので夕方〜夜に水やりをします。水やりの頻度は2〜3日に一回程度、霧吹きなどで行います。

水やり後、葉の間や株元に長時間水が残っていると水が腐敗して、株全体を枯らす原因になります。水やり後は逆さまにして、しっかりと水を切るようにします。

あまり強い日差しのもとにおくのはオススメできません。直射日光をさけ明るい場所においてください。室内であれば、窓のある明るい部屋で十分育てていくことが可能です。置き場所を選ぶ時に注意してほしいことが風通しです。なるべく風通しの良い所に置くようにしてください。ただ、エアコンの風が直接当たる場所は乾燥しやすいので注意が必要です。

標高の比較的高いところに自生している植物なので、暑さや蒸れは苦手です。夏場はなるべく涼しい場所で風通しを意識することで、暑さ・蒸れを防ぐことができます。また水やり後に余分な水分が残らなくなるためにも、風通しは重要になってきます。可能なら、水やり後は直射日光の当たらない屋外の軒下などにつるしておくのがオススメです。

多種多様なエアープランツたちが入荷しやすい時期になりました。お気に入りを見つけてエアープランツたちと生活してみませんか?



⑫ チランジア 'ウスネオイデス' つるして飾るだけでも素敵な雰囲気を出してくれる人気品種。葉が密集しているので風通しの良い所での管理がオススメです。